

うえだ

UEDA



次回の定例会は
2月27日(月)
開会です。



市議会だより

平成29年1月1日号 No.59



議席番号順に並んで撮影しています。(前列中央が議長、左側が副議長、右側が監査委員)

市民の中の議会であり続けるために

「これからのまちづくりとともに」

議長 土屋 陽一
副議長 小林 隆利

明けましておめでとうございます。謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

上田市の昨年は、合併十周年記念と同時にNHK大河ドラマ「真田丸」の年であり、年間を通じて華やかさにとぎわいに満ちた日々でありました。そして見方を変え、多彩な記念事業の開催や大勢の観光客の方をお迎えすることを通じ、官民問わず、かつてないほど「まち」のあちらこちらで様々な創意工夫が行われた年であるとも言えます。今年はその創意工夫の経験を、一過性のもので終わらせることなく、「まちづくり」の財産として活用し、新しい上田市という「潜在力もある宝」を磨き上げ、その魅力を次世代につなげていかなければならないと思います。

市議会としても心を込めてよりよい「宝」に磨きをかけ、市民との車座集会やそこで得たものを政策に仕上げるための政策討論を構想し、実施していきます。まだ試行の域を脱しない部分もありますが、「市民の中の議会」としてこれからのまちづくりとともに歩みを進めるため、これからも不断の議会改革を継続していきます。

結びに当たり、市民の皆様にとりまして本年が幸多き年となりますようお祈り申し上げ、年頭のごあいさつとさせていただきます。

第6回議会報告会を開催

～参加者と活発な意見交換～



議員が各会場に出向き、市議会の活動について説明、報告するとともに、市民の皆さんの声をお聞きする議会報告会を平成28年10月17日(月)から10月21日(金)及び10月23日(日)に市内9会場で開催しました。

本年度で6回目となる議会報告会は、地域協議会単位の9会場で開催し、5つの常任委員会と議会運営委員会からの活動報告のあと、意見交換を行いました。(委員会の活動報告の一部は、4ページに掲載しています。)

報告会の意見交換で出された主な項目

- 大河ドラマ「真田丸」放送終了後
- 資源循環型施設、ごみ減量化
- 地域自治組織、地域課題
- 消防団員の支援、確保
- 学園都市構想
- 太陽光発電施設
- 空き家対策
- 政務活動費、議員定数など

また、本年度は10月下旬から11月上旬までの期間に、常任委員会ごとにテーマ別車座集会を開催しました。これは、5つの常任委員会であらかじめテーマを設定し、グループ単位で参加者の皆さんと意見交換を行い、理解を深めるというもので、これまで要望の多かった「もっと身近に議員と話がしてみたい」という声に応える形で実施しました。

今回の議会報告会及びテーマ別車座集会には、延べ36名の市民の皆さんに参加していただき、多くの貴重なご意見をお聞きすることができました。お出しいただいた意見などの詳細については、今後のうえだ市議会だよりやホームページなどでお伝えする予定です。

アクセスはこちらから → www.city.ueda.nagano.jp/ **上田市議会**

検索

○テーマ別車座集會参加者数

開催日	担当委員会	テーマ	参加者数
10月24日(月)	環境建設委員会	「空き家」について考える	6名
10月25日(火)	産業水道委員会	大河ドラマ「真田丸」その後の商工振興	19名
10月27日(木)	広報広聴委員会	女子力全開 ～ちょっと聞いてよ私の想い～	20名 (ネット参加者含む)
11月8日(火)	厚生委員会	子育てについて	15名
11月11日(金)	総務文教委員会	住みたいまち上田市を創る学生とのまちなかミーティング	39名

○報告会会場別参加者数

開催日	実施会場	参加者数
10月17日(月)	城南公民館	24名
	塩田公民館	51名
10月18日(火)	川西公民館	20名
	武石公民館	21名
10月19日(水)	上野が丘公民館	37名
10月20日(木)	西部公民館	21名
10月21日(金)	丸子文化会館	29名
	真田中央公民館	16名
10月23日(日)	中央公民館	18名

～各常任委員会テーマ別車座集会を開催～

総務文教委員会



市内4大学に通う学生と「住みたいまち上田市を創る学生とのまちなかミーティング」を海野町の「まちなかキャンパスうえだ」にて開催しました。将来にわたり住み続けたい上田市について、委員会から開催趣意などの説明、学生代表3名の発表のあと、6グループに分かれてワークショップを行いました。合同の大学祭開催など4大学の学生間の交流や上田市の魅力を更に伸ばす提案などがありました。市内の大学に通う学生の声を直接聞く機会を得るとともに、上田市が進める「学園都市づくり」の課題が改めて浮き彫りになりました。

産業水道委員会



大河ドラマ「真田丸」その後の商工振興について、商業関連と工業関連の2部会に分かれ車座集会を開催しました。商業関連では全国からお客様が来ており効果を感じているという声や、上田のブランド力をどう活かすかが課題などのご意見をいただき、工業関連では中小企業の従業員1人／29人では幅広いため、小企業に特化した支援策が必要という声や、製造業の社会的価値を高めていく教育も行政の役割など現場の声を聴くことができました。今後現場で活躍する方々の声を聴く機会を作り、市政への提言に努めてまいります。

厚生委員会



子育て中の方や子育て支援団体の皆さんを中心に開催し、より自由に発言できるように2グループに分かれて意見交換を行いました。「子育ての情報が必要な時に行政を頼るので、行政の情報量が豊富であってほしい」「子供と遊べる公園や遊具が少なくない」「上田城跡公園北観光駐車場は子育てカードで無料にならないか」「民間団体の催しを市のHPに掲載してほしい」「産前産後の時に必要な情報が入手できない」など、様々な意見・要望を出していただくことができ、上田市における子育て支援政策の課題の再認識ができました。

環境建設委員会



全国各地において、空き家が地域の大きな問題となっており、市民のみなさんが身近でお困りの実態、空き家対策のアイデアなどをお聞きし、今後の委員会での取り組みの参考としたく車座集会のテーマとし、より活発な意見交換ができる工夫として、ワークショップ形式で実施しました。不法侵入など治安が悪い、景観が悪い、建物が老朽化し危険、野生動物の巣となっているなど問題が出され、解決のアイデアとしては、法律の整備、空き家にしなないためのリフォーム補助金などの補助金創設など活発な意見交換が行われました。

広報広聴委員会



海野町商店街のハナラボ・ウンノにて、子育てしながら働く女性を中心にテーマを「女子力全開」ちやうと聞いてよ私の想い〜として日常生活で感じる素直なご意見・ご提案などを頂きました。主に医療体制、職場環境、子育て支援などの育児に深く関係した内容が多く出されました。またSNSを活用したライブ中継を上田市議会として初めて実施し、ネット上からも参加・ご意見を頂きました。参加者は約20名で、要望としては新たなテーマ・対象者設定による開催出された課題や意見への対応報告の確実な実施などのご意見を頂きました。

「まちなかキャンパスうえだ」 市内4大学（長野大学、信州大学、長野県工科短期大学校、上田女子短期大学）が共同して実施する事業で「学園都市・上田」における「地域と大学の連携拠点」として位置づけられたもの。

委員会の活動について～住みよいまちづくりを目指して～

上田市議会には所管する事務事業をより専門的に調査・研究する5つの常任委員会と、議会を円滑に進めるための協議を行う議会運営委員会が設置されています。

議会報告会では、各委員会の活動概要についてご報告しており、その内容の一部をご紹介します。

総務文教委員会

所管する事務事業のうち、重要課題である定住移住促進のための「空き家バンク制度」については実務に携わる宅地建物取引業協会上小・更埴支部と懇談会を行い、現在実証実験中の運賃低減バスについては担当課から現状の説明を受けるとともに、実際に乗降客の少ない路線に乗りし調査研究を行いました。また、学園都市推進の取り組み、路線バス運賃上限化実証実験後の取り組み、市庁舎の建て替えについては他県の先進事例の視察を行いました。これらを通じ、政策提言を行うとともに、適切な予算執行のチェック機能の充実に努めます。

産業水道委員会

NHK大河ドラマ「真田丸」の放送では、予想を上回る観光客にお越しいただいたこともあり、宿泊業や飲食業、お土産業など一部で大きな経済効果を実感していることや、製造業関連の方からは上田市の知名度が上がったことで、営業がしやすくなったとの声もありました。また委員会では、愛知県安城市の農業振興や浜松市の中小企業支援、高山市の外国人観光客誘客への取り組みを視察しました。委員会としても真田丸効果や先進地の取り組みをしっかりと調査・研究しながら、より良い上田市を目指し、提言に努めてまいります。

厚生委員会

地域医療体制の整備について信州上田医療センターが地域がん診療病院に指定されたことを踏まえ、地域医療体制づくりを検証しております。認知症対策については認知症初期集中支援チームの設置の取り組みを注視するとともに、地域包括ケアの推進に向け、様々な課題を抱える相談者に対応するため、1か所で相談できる福祉総合相談窓口を設置している事例などの調査・研究を行いました。子ども・子育て支援新制度については経過を検証し、車座集会などの機会をとらえ、子育て支援の充実のために調査・研究を行ってまいります。

環境建設委員会

行政視察では、秋田県横手市を訪問し、地域協議会へ予算配分しソフト・ハード事業を実施している実態を視察しました。地域内分権確立に向け「地域自治組織」の設立などが本格化する上田市の参考とし、今後目指すべき「地域自治組織」のありかたについて、更に調査・研究します。また、所管事務調査では、事業目的で設置が検討されている太陽光エネルギー設備を現地調査しました。再生可能エネルギーの推進の必要性を理解する一方、市民生活に悪影響を及ぼさないよう、条例制定などの調査・研究を進めます。

広報広聴委員会

市民の皆様からのご意見・ご提案をできるだけ広くしっかりと伺うことを目指し、第6回議会報告会の開催に注力しました。今年度は開催会場を6会場増やし、並行して実施したテーマ別車座集会では各5常任委員会が特色あるテーマ設定のもと、出張型形式での開催を実施するなど広聴活動の強化において新たな試みを行いました。また議会として更に迅速かつ正確な情報発信体制の構築を目指し、動画情報配信の実施に向けた検討、各種ネットサービスの積極的な活用及び議会だよりの抜本的改善を目指して調査・研究を推進しております。

議会運営委員会

議会運営委員会は地方自治法に基づき設置がされている委員会であり、議会運営を円滑にするための協議、意見調整を行っています。また、議長から諮問を受けた事項に対して調査や審査を行うことも大切な役割であり、現在、「議会改革」と「予算決算の審査方法」について検討を行っています。とりわけ予算決算の審査方法については、先進地視察の他、6回の委員間討議を重ね、来年度から新たに「決算特別委員会」を設置するよう議長に報告させて頂きました。今後は、より深い内容の決算審査となることが期待されます。

編集後記

新年あけましておめでとうございませう。皆様におかれましては、希望に満ちた平成29年の新春を晴れやかに迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。昨年は真田丸の放送で多くの観光客が訪れたことや、合併10周年という節目の年が重なり、上田市にとって活気に満ち溢れた1年となりました。今後も国際スポーツ大会におけるキャンプ地誘致など様々な動きが出てくるかと思いますが、話題性のある取り組みに加え、人口減少や雇用を支える製造業の衰退など、あまり表に出ないものの市民生活に直結する課題こそ真剣に考えていかなければなりません。今後より良い上田市となるよう尽力すると共に広報広聴委員会として市民の皆さまへの情報発信に努めてまいります。

(山田英喜)

平成 29 年 1 月 1 日発行
発行：上田市議会
〒386-8601 上田市大手一丁目11番16号
TEL.0268(22)0452 FAX.0268(23)5136
E-mail: gikai@city.ueda.nagano.jp
編集：広報広聴委員会
委員長：松山賢太郎
副委員長：松井 幸夫
委員：林 和明・山田 英喜
成瀬 拓・松尾 卓夫
小坂井二郎・金子 和夫
原 栄一
印刷：田口印刷株式会社